



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！414名

【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。()】

福岡県学力調査結果をご報告いたします。

(福岡県内の全ての5年生を対象とした毎年行われる学力調査【国語・算数】です。)

対象：福岡県内の全小学校の5年生：令和7年6月5日(木)実施された結果です。

得点は本校の5年生の皆さんが福岡県の5年生の皆さんの国語科と算数科の標準化得点の結果です。(県平均を100に換算した福岡県教育委員会さんから飯塚市教育委員会さんを通じて通知された結果でございます。)

2教科全てにおいて県平均を突破しております。国語科につきましてもいい分けするわけではございませんが、今年度からテスト入力がCBT化※されており、

※「Computer Based Testing」の略称で、文字通り、コンピューターを使用した試験方式のこと。コンピューターのディスプレイに問題が表示され、マウスやキーボードを使って選択肢を選んだり、答えを入力したりして解答します。

タブレットPCが若干ではございますが不具合の時間がありました。年度末1月に市内19校が参加して行われる学力調査(これは「東京書籍(株)」の全国調査)

や、次年度春の6年生全国学力学習状況調査では、タブレットの不具合を起こさせないよう教師側もサポートしてまいります。

※標準化得点P	5年生国語P	5年生算数P	国語・算数総合P
本校(飯塚東小5年生)	106.7	112.9	109.8
福岡県平均【100】	100	100	100



※標準化得点とは、データを共通の基準で比較可能にするための統計的手法であり、Z得点としても知られています。つまり、個々のデータが母集団の平均からどれだけ離れているかを示す指標です。これにより、異なる分布のデータを比較することが可能になります。標準化得点の概念は、19世紀後半に統計学を体系化したカール・ピアソン(Karl Pearson, 1857-1936)によって確立され、ピアソンさんは、確率論と統計を応用して偏差や標準偏差、相関などの基礎を整え、個々のデータを集団標準に基づき比較できる方法を開発されました。経済学に長けた方のお話によるとイギリスのご出身だそうです。正直・・・学生時代私は赤点でした。

なお、飯塚市内全ての小学校が、各々の特色を生かし、同様の結果を算出されております。飯塚市教育委員会の根気強い先進教育施策であります。mim や徹底反復学習や協調学習やキュピナ社のA1ドリル活用とデータ分析、外国語教育専科の先生方と担任の先生方との連携とオンライン英会話、スチューデントシティでのキャリア教育、福岡県の未来シリーズ、10ミニ、スポコン広場活用の県内エントリー校と自校の記録挑戦等、未来人材活用、地域の見守り活動、ひがし食堂運営の方々の協力、保護者のみなさんやおばあちゃん、おじいちゃん、の励まし(真心で念を送る場合も含まれます。)、児童センターの先生方や、給食室の先生方あわせて57名の教職員先生方の日々の情熱と子ども達の直向きな心がミックスされて今回の5年生の結果にとどまらず、春の6年生の全国学調結果や、1年生から6年生までの全校の学力が常に安定していることに敬意を表します。ps 5年生はインフルエンザ蔓延防止のため臨時休業ですが、あまり頑張りすぎずに年度末のまとめのスパートのために少し体力を充電されてください。

14日金曜日には午前中授業ですが

イラストのような元気な姿を見せてくださいね。



朝早く来て仲よく遊んでいるお友達と1年生の学年体育の様子です。・・・なんだか上級生の皆さんがいなくて張り合いがないようです。唄うならば「5・6年生や4の3のお友達に早く会いたいよ〜。キーク」という感じです。エスポール君も「早く会いたいよ〜」と同じ気持ちかもしれません。

柴田先生も1年生のサポート役で授業に参加してくださっています。連続かぶり跳びの様子です。(^_^)☆



5年生のキャリア教育の活躍の写真が私に語り掛けます。5年生のOさんが「休みはうれしいですか?」と尋ねましたら「いやです。」「一緒だね。なんかうれしいな。」と私と中央廊下でお話してきました。できるお友達だけが、午前中オンライン授業が数コマ学年でありました。臨時休業の担任の先生方、学力向上担当の先生方、そして、教頭先生ありがとうございます。

